

(4)平成24年度事業について

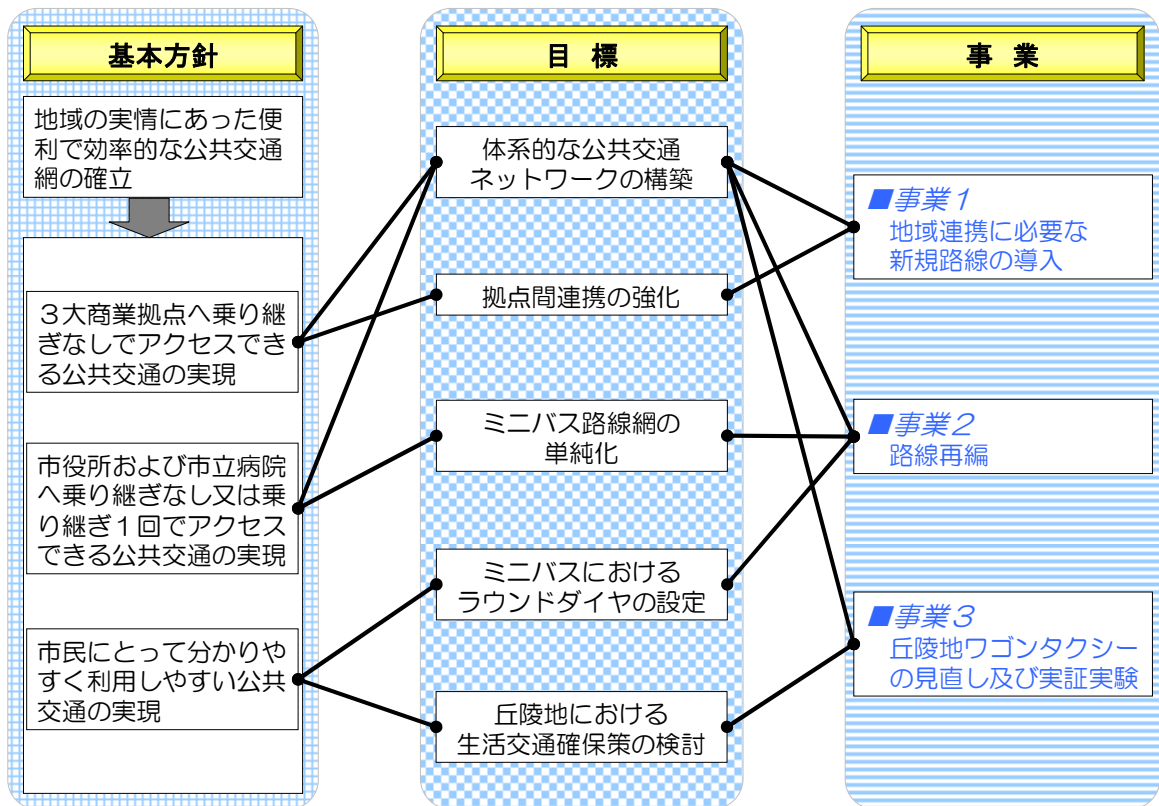
前回交通会議(第14回)にて、承認いただきました「平成24年度事業計画」について、現状の把握と実施の方向性について検討します。

1)連携計画の見直し

平成20年度に策定された「日野市地域公共交通総合連携計画」について、道路整備の進捗など経年による実態への整合、また、国の補助制度に対応した見直しを図ることにより、より利用しやすい公共交通の実現を図ります。
更に、国庫補助の新制度である地域公共交通確保維持改善事業を活用しやすくします。

○現在の連携計画の概要

現在は、基本方針、目標を設定し、3つの事業について事業展開しており、各事業について一定の成果を見ているところとなっています。
今後は、事業内容の見直しや新たな事業展開も含めて検討していきます。



○見直し内容(案)

1) 新規ルートの検討

日野市内に依然として残る交通不便地域について、新規ルートの検討、開設することにより交通不便地域の解消を図ることを目的とします。

2) タクシーのユニバーサルデザイン車両の導入

第12回交通会議にて、タクシー車両のバリアフリー化など、公益的であり地域の実情に即した輸送サービス実現のために当会議として積極的に取り組むことで承認をいただいております。

2) ワゴンタクシーの見直し

従来より協議しておりました、ワゴンタクシー明星ルートの大型化について、導入の見通しが立ちました。今後は、大型化して利便性が向上した明星ルートの積極的なPRを検討します。また、平山ルートについても利用促進を検討します。

・車両の大型化

導入予定日	平成24年7月
車両規格	15人乗り通勤タイプ



ワゴンタクシーかわせみ Go(ゴー)15人乗り通勤タイプ

3) 交通不便地域の解消

地域の公共交通における先進事例などの情報を収集し、日野市の交通体系に合った新たな交通手法の検討を行います。

- ・別添資料－1「交通不便地域図」をご覧ください。

4) バス停配置の見直し

国道20号日野バイパス上のバス停配置について、現在の不均等な配置の見直しを図り、必要に応じてバス停を新設することにより、周辺住民の利便性向上を図ります。

- ・別添資料－2「日野BPバス停配置検討図」をご覧ください。

5) 運行事業者との連携

ご利用いただくお客様に、快適に乗車いただきイメージアップを図るため、車内環境の改善や乗務員教育の向上を目指していきます。

【取り組み例(案)】

- ・車内での季節感の創出
- ・ぬり絵コンテストなどの車内展示
- ・ご意見を受け付ける手法の検討
- ・心のバリアフリー

(日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進計画による)

6) 乗り継ぎ制度の充実

ミニバス再編の際に廃止された南平路線の日野駅行きの利用者に対応するため、日野市役所バス停での乗り継ぎ制度導入を検討します。